

# INFORMATION

## J Aふかや安全・安心野菜システムについて(その1)

このシステムの開発・導入の背景・動機は、輸入野菜対策の一つに位置づけ、平成十二年から準備を進めてきました。

昨年、食品の偽装表示・詐欺事件・中国産野菜の残留農薬基準オーバー・無登録農薬の販売・使用等問題が次から次へと発覚し、国民・消費者の信頼を大きく失いました。

このようななか、全国的に食の安全への関心の高まりと機を同じ

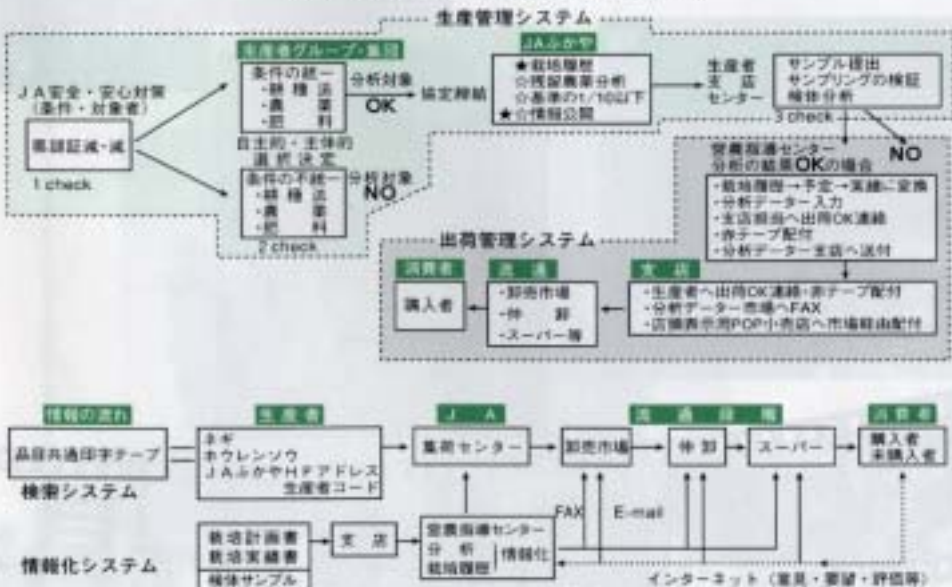
に、わがJ Aふかやでは、国内産地として初めて残留農薬の自主分析の運用(平成十四年十一月二十日)に入り注目されています。

ぜひ、組合員生産者のご理解ご協力によって、J Aふかや安全・安心野菜システムに参加いただき、野菜産地ふかやが名実ともに、消費者・スーパー・卸売市場等から、選ばれる産地になることを願い、産地間競争力をつけたいもので

### 一 生産の特徴

- (一) 埼玉県特別栽培農産物(認証要綱第三の規定基準による減農薬・減化学肥料栽培)の認証を受けていること。
- (二) 生産者集団・グループが自主的・主体的に栽培法・農薬・肥料の種類を統一していること。
- (三) 生産者集団やグループの生

### J Aふかや安全・安心野菜システム



産者個々と、J Aふかやで協定を締結し、栽培法・残留農薬の分析と、分析データの情報公開を行うこと。

四 J Aふかや安全・安心野菜として、食品衛生法基準の1/10以下の、独自基準を設定して出荷する。  
 (五) サンプリングの検証は、第一チェックとして支店担当者が現地

確認する。第二チェックは営農指導センターが検体チェックを行う。

### 二 情報公開手法の特徴

- (一) J AふかやHPアドレス (<http://www.ja-fukaya.com>) 及び生産者コード

03 | 12345  
 支店 | 字 | 生産者  
 を使うことによって、産地生産者

ごとに栽培履歴・残留農薬分析データをインターネットで公開する。  
 (二) 検索のためハウレンソウ・ネギの結束テープに、J AふかやのHPアドレスと生産者コードを印字したテープで結束する。  
 三 テープ方式のメリット  
 (一) 最小単位の容量(束・袋・パック)に検索認識印字テープが使わ

れるので、集配センター・バックセンター等で他産地のものとの混合することは不可能に近い。  
 (二) ハウレンソウ・ネギ・ネギ束買って情報を知ることができる。  
 (三) 生産者ごとの情報発信システムであり、トレーサビリティ(生産履歴を追跡する仕組み)が容易である。